

報告事項ア

未来とりっこわくわく大作戦啓発フォーラムの開催結果について

未来とりっこわくわく大作戦啓発フォーラムの開催結果について、別紙のとおり報告  
します。

令和元年8月8日

鳥取県教育委員会教育長 山 本 仁 志

## 未来とりっこわくわく大作戦啓発フォーラムの開催結果について

令和元年8月8日  
教育総務課

教育振興基本計画の基本理念を支える「4つの力と姿勢」を分かりやすく伝えるため「とりっこ」を合言葉にキャッチフレーズを作り、『未来とりっこわくわく大作戦』として啓発フォーラムを下記のとおり開催しましたので、報告します。

### 記

- 1 日時 令和元年8月3日（土） 13時30分開始
- 2 会場 倉吉未来中心 小ホール ほか
- 3 参加者 のべ約500人
- 4 内容

#### (1) 開会行事

教育長あいさつの後に倉吉市の小中学生9名により「未来とりっこわくわく大作戦」の取組内容を紹介し、会場全体で作戦スタートの宣言を行った。

##### 【作戦スタート宣言の内容】

「と」とどけよう まわりの人への思いやり やさしいことば  
「り」リードしよう ふるさととっとり 世界の未来  
「つ」つづけよう 毎日のめあて 心とからだの健康づくり  
「こ」こうどうしよう 小さな目標達成から 将来の夢の実現へ



#### (2) 鳥の劇場による公演（参加者 290人）

##### ア 内容

演目は以下のとおりであり、物語の解説や演出の効果等を参加者に分かりやすく伝えるなど、会場参加型の公演を行った。

「がまくんとかえるくん ～あしたするよ～」  
「アナンシと5」

##### イ 感想

- ・家族で楽しく見れてよかった。動画とは違う楽しさを経験できてよかった。(小学生)
- ・本物を見て、迫力がすごかった。(小学生)
- ・劇という表現の世界のおもしろさを知ることができた。演出がすばらしく、短さ、内容とも小さい子どもが一緒でも楽しめてよかった。(保護者)
- ・中学生の朗読がとても上手で驚いた。みんなが参加できる工夫があつてよかった。(保護者)

#### (3) 作戦

##### ア 作戦その1「親子で電子メディア利用のルールをつくろう」

(ア) 講師 一般社団法人 ソーシャルメディア研究会 竹内 義博 氏

##### (イ) 内容

講演会とワークショップの二部構成で、前半の講演会では、スマートフォンの利便性についてお話いただくとともに、SNS上での実際のトラブル事例等も交えながら講演していただいた。

後半のワークショップでは、電子メディア利用時の時間の使い方や、安全に使用するためのルールについて、まずは親と子がそれぞれルールを考え、それを親子で一緒に話し合いながら具体的なルー



ルづくりにつなげることができた。

(ウ) 感想

- ・スマホやゲームの使い方やネットについて詳しく知れたのでよかったです。決めたルールを守れるようにしたいです。(小学生)
- ・電子メディアで親の知らない間に起こるトラブルを回避するため親子でもっと考えていかないといけないと思った。(保護者)
- ・いろんな研修に参加してメディアのことはたくさん知ったように思っていました。話を聞いて新たに知ったこともありよかったです。(保護者)

## イ 作戦その2「親子でいっしょに演劇をつくってみよう」

(ア) 講師 演出家 鳥の劇場 芸術監督 中島 諒人 氏

(イ) 内容

絵本をモチーフにして、「とりっこ」のテーマに沿った演劇づくりを行った。物語のストーリーを考えながら役になりきり、相手に伝わるように表現することの楽しさを伝えた。



(ウ) 感想

- ・劇を作れて楽しかったのでまたやりたいです。(小学生)
- ・演劇づくりでは久しぶりに声が出せて楽しかった。子どもと一緒に親も楽しめた。(保護者)

## ウ 作戦その3『眠りのメカニズム』や『食』の大切さを学ぼう」

(ア) 講師 川崎医療福祉大学 教授 保野 孝弘 氏

(イ) 内容

睡眠の質に大きな影響を与える「メラトニン」は光に弱く、スマホやタブレット等の「ブルーライト」が様々な悪影響を与えていることや、「早寝早起き朝ごはん」などの生活習慣を整えることで様々なよい効果があることについて講演していただいた。



(ウ) 感想

- ・眠りや食の大切さを再確認できた。(保護者)
- ・これからを担う子どもたちへの成長に関わる大切なことが聞けました。大人から努力したいです。(保護者)

## エ 作戦その4「いっしょに体を動かして親子のかかわりを考えよう」

(ア) 講師 香川大学生涯学習教育研究センター  
センター長 清國 祐二 氏

(イ) 内容

前半は、親子で参加し、家庭における遊びをとおして、子どもとの「ふれあい」「かかわり方」を学ぶとともに、子どもの「集中力」「忍耐力」「あきらめない力」「やり抜く力」などを養うための体幹プログラムを体験した。



後半では、参加者がグループに分かれ家庭での子どもとのふれあい関わり方等に関する標語づくりを行うことで、保護者同士のつながりの一助とするとともに子育て・家庭教育の大切さを改めて学ぶ機会とした。



### (ウ) 感想

- ・いつも以上のたくさんの我が子の笑顔が見られた。(保護者)
- ・親子のふれあいは今だからこそ、たくさんすることの大切さを再確認しました。(保護者)
- ・あらためて子どもの成長、一緒に過ごす時間の大切さを知った。(保護者)

### オ その他

作戦以外にも英語を使った遊び、ペットボトルを使った発電装置づくり、おもちゃづくりの体験コーナーを設けた。



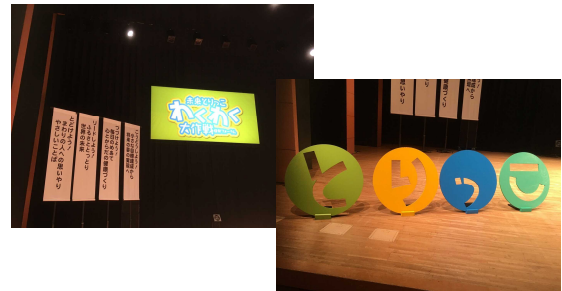
### 5 閉会行事

作戦その2で作り上げた演劇を披露するとともに、鳥取県PTA協議会会長があいさつを行った。

### 6 参加者の感想 (回答者数 59人)

#### (1) 満足度

とても満足した	33人 (56%)
満足した	21人 (36%)
ふつう	3人 (5%)
ややもの足りない	2人 (3%)
もの足りない	0人 (0%)



#### (2) 全体の感想

- ・親子、会場の全てとつながった企画が素晴らしいと思いました。(保護者)
- ・今日のフォーラムは必要不可欠な取組だと思います。今後も東部、西部でも継続していただければと思います。(保護者)
- ・発表者で子どもを参加させてもらい、良い経験ができ、少し何か成長できたと思います。(保護者)

### 7 今後の取組

未来とりっこわくわく大作戦を合言葉に子どもたちに様々な体験等をしてもらうため、「未来とりっこわくわく大作戦スタンプラリー」をフォーラム開催に併せて開始しました。

(1) 対象 未就学児～高校生

(2) 実施期間 令和元年8月3日～令和2年3月31日

(3) 内容

県内の社会教育施設等を訪れたり、「とりっこ」に関連したイベントに参加したりするとスタンプやシールを収集でき、全て集めて応募した子どもにプレゼントを送付します。

